

キシラデコールと

# 色

設計者に聞く、木質建築での保護塗料の活用法 ①

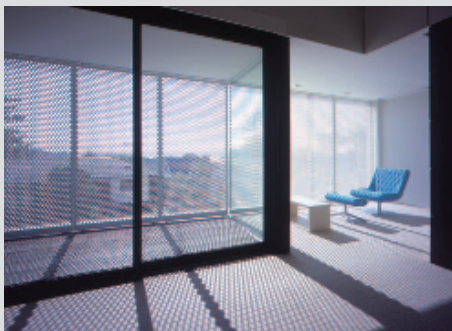
## 「白」と「クリア」を混ぜて木肌の質感を生かす

建築業界に携わる久武正明氏が設計した自宅は、コンクリート打ち放しと見違えるような木造の「白い箱」だ。名付けて、「WHITE」。木肌の質感を生かしながらイメージ通りの「白」を表現するために、保護塗料キシラデコールの「白」に「クリア」を混ぜ合わせる方法を取っている。なぜ「白」なのか、そして、イメージ通りの色の表現をどのように実現したのか、久武氏に聞いた。

雨戸代わりにパンチングスクリーンを使用。閉じていても穴を通して柔らかな光を室内に取り込むことができる。両脇の壁に引き込む造りなので、開ければ全面開口。

(写真：平井 広行)

名称 ● WHITE 所在地 ● 兵庫県芦屋市奥池町 用途 ● 専用住宅 家族構成 ● 夫婦 敷地面積 ● 612.09㎡ 建築面積 ● 69.49㎡ 延べ床面積 ● 108.56㎡ 構造 ● 階数 ● 木造・地上2階建て 竣工 ● 2004年6月 設計 ● 久武正明 施工 ● 山本工務店



一月すると、コンクリート打ち放しのようにも見える。箱の上に箱を載せたような造りで、大梁の上に架け渡した支持材によって跳ね出し部分の荷重を受けている。(写真：久武 正明)

「White」と建物を名付けていますが、設計の段階では、どのようなことを考えていたのでしょうか。久武 ● 敷地は、六甲の山間にあり、遠く大阪湾を望む立地です。自然の豊かな場所で、春や夏には、木々の緑や

青空が広がる一方で、冬には雪が積もりますし、濃い霧が発生することもあります。こういう自然の中に溶け込む建物にしたいとまず考えました。このような自然に同化し、その背景となるように、

ニュートラルな「白」い建物をイメージしました。

また、周辺を緑で囲まれている場所なので、木のイメージがここにはふさわしいとも考えたのです。構造も木造とし、外壁も木材で包み込むこととしました。木の質感のイメージを出しながら、「白」を表現することが一つのテーマとなりました。

外壁に使う予定のスギは、そのまま張ると、白っぽかったり、赤っぽかったりして、色のバラツキがありました。そこで保護塗料であるキシラデコールを使って、全体に薄いフィルターをかけることで、質感と色が両立するイメージの表現を試みたのです。

木肌の質感を残しながら、「白」を表現するために、塗料はどのように選んでいったのでしょうか。久武 ● 色見本で見た白は、木の質感が消えているように感じました。実際に施工されている建物をもみても、色の要素が強すぎるように見えました。一方で、「クリア」にすると、スギの赤っぽさ

が出てしまいます。透明感のある「白」のイメージをいかに出すか、検討した結果、「白」と「クリア」を混ぜ合わせる方法に行き着きました。

どのような配合にすればよいか、サンプルを何種類かつくりました。白が強すぎても質感が消えてしまし、弱すぎても、全体としてひとつの色のイメージが出ません。最終は、現場で大きめのサンプルを並べて、選びました。

竣工から、すでに2年以上経っていますが、メンテナンスについては、どのように考えていますか。最後に、キシラデコールを使ってみてどのような感想をお持ちですか。

久武 ● 山間で紫外線が強いので、通常より短めのサイクルで塗り替えの方が木のためにもよいと考えています。一回目の塗り替えは、3年程度で、その後は、5年程度の予定です。軒の出



木とともに生きる。【キシラデコール】  
**XYLADECOR**  
おかげさまで35周年



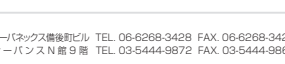
久武 正明 氏

ひさだけまさあき。1966年生まれ。91年東京大学工学部建築学科卒業。同年竹中工務店大阪本店設計部勤務。主な作品には、「武庫川女子大学付属中学校・高等学校セミナー棟」「大阪デザイン学院トレーニングセンター」がある。「第2回木質建築空間デザインコンテスト」住宅部門賞受賞。

が深いので、日差しが外壁に直接当たりにくいところが多いのですが、西日の当たるところなど場所によって、木の焼け方が違うので、その点も踏まえて考えていこうと思っています。

色の出方は、思った以上によかったように思います。色の微妙な組み合わせ方で、最終のイメージがかなり変わってくることを痛感しました。今後、色を塗りかかなくていいことで、どのように変わっていくか見ていきたいと思っています。

キシラデコールシリーズ  
安心の住空間づくりに  
内装専用水性ステイン  
美しく、耐久性に優れた  
内外装水性ペイント



【お問い合わせ先】

製造販売  
日本エンバイロケミカルズ株式会社  
〒105-0023 東京都港区芝浦一丁目2番1号  
TEL: 03-5444-9872 FAX: 03-5444-9862

大阪 〒541-0051 大阪市中央区備後町三丁目6番14号 アーバックス備後町ビル TEL: 06-6268-3429 FAX: 06-6268-3420  
東京 〒105-0023 東京都港区芝浦一丁目2番1号 シーバンスN館9階 TEL: 03-5444-9872 FAX: 03-5444-9862  
www.jechem.co.jp